

実践記録（小4・国語）

1 単元 調べてわかったことを発表しよう ～聴覚障がいについて知ろう～

2 ねらい

情報の選択と整理をする過程で事実と意見を区別して発表の組み立てを考えることで、自分の考えを分かりやすく伝えることができるようにする。

3 手立て

・ 「分別くん」 ～工夫したYチャートの活用～ 【情報の選択】

複数の情報について三つの視点（話す目的に合う・話す目的に合うかもしれない・話す目的に合わない）を設定することで、自分に必要な情報だけを視覚的に選択することができるようにする。

・ 「進化させるクラゲくん」 ～工夫したクラゲチャートの活用～ 【情報の整理】

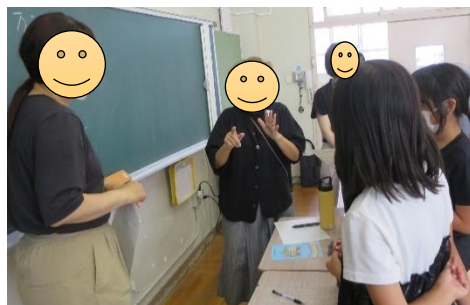
選択した情報に対する事実と自分の意見を区別して決められた順序で並べることで、自分の伝えたい内容を整理し、分かりやすく伝えることができるようにする。

4 指導計画（7時間完了）

- (1) 聴覚障がいをもつ方と交流しよう・・・・・・・・・・2時間
- (2) 聴覚障がいについて関心をもったことを調べよう・・・・2時間
- (3) 伝えたい内容を選択しよう・・・・・・・・・・1時間
- (4) 伝えたい内容を整理しよう・・・・・・・・・・1時間
- (5) 調べたことを発表しよう・・・・・・・・・・1時間

5 実践の様子

| 時数 | 主な学習活動 |
|-----------------|---|
| 第1時 ～ 第2時 | (1) 聴覚障がいをもつ方と交流しよう 第1時から第2時では、聴覚障がいをもつ方を講師に迎え、聴覚障がいとはどのような障がいなのかを直接学んだ。聴覚に障がいをもつ子どもがどのように学校で生活を送っているのかを聞いたり、手話や空書きなど、聴覚障がいをもつ方のコミュニケーションの取り方を体験したりすることで、聴覚障がいについて知ることができた。また、話を聞いてさらに詳しく知りたいこと、疑問に感じたことが生まれ、さらに聴覚障がいについて知識を深めたいという意識を高めることができた。 |
| 第3時 ～ 第4時 | (2) 聴覚障がいについて関心をもったことを調べよう 第3時から第4時では、聴覚障がいをもつ方との交流体験を基に、子ども一人一人がテーマを設定し、調べ学習を行った。資料は基本的に本を活用し、情報を集めることにした。また、本から得られないようなテーマを設定した子どもについては、インターネットを活用し、資料を集めた。 |



| | |
|------------|---|
| | <p>得られた情報は、タブレットのカメラ機能を使ってロイロノート上に保存し、いつでも見返すことができるようにした。様々な資料を見比べながら必要な情報(写真)を収集し、知識を深めたり、疑問を解決したりできるようにした。</p> |
| <p>第5時</p> | <p>(3) 伝えたい内容を選択しよう</p> <p>第5時では、調べて分かったことをクラスで共有するために、「分別くん」を活用して発表の準備を行った。調べ学習で収集した情報(写真)を三つの視点(話す目的に合う・話す目的に合うかもしれない・話す目的に合わない)に分別した。初めは一つずつ丁寧に分別していたが、慣れてくると素早く判断し、話す目的に合うかを考えて必要な情報を選択することができた。選択した情報(写真)が多いと感じた子は、必要かどうかを考えて精選している様子も見られた。</p>  |
| <p>第6時</p> | <p>(4) 伝えたい内容を整理しよう</p> <p>第6時では、「分別くん」で選択した情報(写真)を「進化させるクラゲくん」を活用し、上から順に「写真」「写真の説明(事実)」「自分の考え(意見)」と区別し、短い言葉でまとめた。一つの情報に対して一つの「事実」と「意見」を対応させることで、話す内容を意識して整理できた。情報(写真)の順番を先に決めて発表の見通しをもって整理をしたり、発表の順番通りに情報(写真)を整理したり、子どもによって整理の仕方は様々であった。</p> <p>また、足の数を減らしたり、自分の考えを最後にまとめて伝えたり、一つの情報(写真)に対して複数の事実や意見を伝えるような整理の仕方を考えたりして、発表に合わせて自分なりに「クラゲくん」を進化させながら、伝えたい内容を整理する様子が見られた。</p>  |
| <p>第7時</p> | <p>(5) 調べたことを発表しよう</p> <p>第7時では、完成した「進化させるクラゲくん」を使って、タブレットを操作しながら発表を行った。これまで子どもたちは、原稿を作って発表を行う経験しかしてこなかったが、多くの子が短い言葉でまとめた「事実」と「意見」を活用して発表を行うことができた。自分の伝えたい内容に合わせて、発表の組み立てを整理したことで、伝えたい相手を明確にして発表をすることができていた。また、友達の発表を聞いて、テーマと話す内容が異なっていることに気付いた子どもたちから、みんなでのどのようなテーマにするとよかったのか話し合う様子も見られた。</p>  |

6 成果と課題

- 「分別くん」を活用し、三つの視点を基に自分の伝えたい内容を考えて分別することで、必要な情報（写真）を選択することができた。
- 「進化させるクラゲくん」を活用することで、情報（写真）・事実・意見を明確に区別して整理することができた。また、カードの並べ方を指定することで、発表の構成まで同時に行うことができた。
- 事実と意見の違いが分からない子どもが見られ、事実と意見が混在したり、短い言葉でまとめる段階で戸惑ったりしてしまった。
- タブレットの操作や文字の入力に手間取る場面が見られ、「クラゲくん」の完成までに予想以上の時間が掛かってしまった。